

地域に視点をあてた事業展開 [児童]

社会的養護のノウハウを活かして子育てサロンを開催

地域の子育て中の母親、父親を対象に子育てサロンを開催している。近隣の保育園児、児童養護施設の幼児も含めて多くの参加者があり、子どもたちの交流の場となっている。児童養護施設の運営で培ってきたノウハウを活かし子育てに対しての不安や困りごとへの相談も受け付けている。

神奈川県 社会福祉法人 **中心会**

〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名10125
TEL : 042-764-7046 FAX : 042-764-7048

◇法人設立年

昭和28年

◇法人実施事業

- ①経営施設（事業）数：6施設19事業
- ②経営施設・事業の種類：
養護老人ホーム…1、特別養護老人ホーム…4、訪問介護…1、訪問入浴介護…1、通所介護…3、短期入所生活介護…3、居宅介護支援…2、地域包括支援センター…2、児童養護施設…1、生活介護（障害デイサービス）…1

◇法人の理念・経営方針

私たちの使命

私たちは、私たちが活動する地域社会において、自分や自分の大切な人が抱える心身の障害や生活環境上の問題によって、様々な『不自由』『生きにくさ』を現に経験し、または経験するだろうリスクを有する人々に対して、適切な専門性の担保された養護、介護、及びこれに関連する諸サービスを提供することを通じて、誰もが自分の存在に誇りを持ち、生きる喜びを享受するとともに、自分の家族や隣人の存在を素直に喜ぶことができる社会づくりに貢献します。

◇取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

中心子どもの家

【施設種別及び利用定員】

児童養護施設 50名

◇活動内容

- 活動開始年
平成18年1月
- 活動の対象者
地域の乳幼児及び保護者、近隣保育園園児等
- 活動の頻度・時間
月2回、1回あたり2時間程度

◇活動実施の背景、実施にいたった理由

児童養護施設の入所児童の7割近くが保護者からの虐待を受けてきたという現状の中で、当施設で培ってきたノウハウが地域社会に還元できないかと考え、子育て講座、育児相談、ショートステイ等の子育て支援をこれまでも実施してきた。

「地域社会に根を張り、地域社会を育てるとともに、地域社会に支えられる」という法人の信念もあり、当施設が相模原市において、子育て中の母親、父親が何か困ったことがあったら、気軽に相談できるような地域に根ざした存在でありたいと考えた。

◇実施内容

月2回、季節の行事を取り入れながらサロン活動を行っている。活動場所は、施設内で地域に向けて開放しているコミュニティホールである。サロンの手伝いとして、市内の里親にも協力をお願いし、素話、人形劇、リトミック、紙粘土遊び、ボディペインティングなどを一緒に行っている。近隣の保育園児、児童養護施設の幼児もあわせて総勢約35名の参加者が集まり、皆楽しく過ごしている。今では、参加者の母親の要望から、昼食を持参できる保護者は昼食を持参し、サロンの後もおしゃべりをしながら楽しく過ごしている。

◇活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

施設のWebサイトを活用したり、地域の公民館の中に事務所がある地区社協にチラシを置いたりすることで、活動の広報をしている。大きな宣伝は行っていないが、母親の口コミでサロンの参加者が増えている。母親の感想として、「気軽に参加でき、駐車場もあり、楽しく過ごしている。」「自分の子どもがこんなに楽しんでいる姿を初めて見た。」という感想をいただいている。また、児童養護施設を開放することにより、施設自体の理解にもつながっている。児童養護施設、里親が子育て支援のキーパーソンになることによって、社会的養護の理解と共に、里親の啓発活動にもつながらばと考えている。

◇今後の展開

現在活動している施設を拠点とし、地域に向向いて行う出前サロンを計画している。車がなくてサロンに出席できない保護者のために、地域の公民館等に向向いてサロン活動を実施していく計画である。現在、障害のある母親の参加もあるが、皆が楽しく過ごせるサロン活動を相模原市内で展開していきたいと考えている。

◇主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
消耗品費	4,000円	地区社協助成金	20,000円
印刷費	4,000円	法人負担	5,000円
材料費	6,000円		
楽器・図書代	9,000円		
会場お茶代	2,000円		
<合計>	25,000円	<合計>	25,000円

- ・取り組みにかかわった職員数 2名
(職種等：保育士)

